

メッセージ 1

はじめて六ヶ所にやってきた人たち

企画展から、六ヶ所村で発掘された縄文時代の遺跡から読み取れる、当時の様子や縄文人の思いを時代区分ごとに7つのメッセージとして、ご紹介いたします。縄文草創期（旧石器時代？）からのメッセージ 1 です。



図 I-1 地図：発茶沢(1)遺跡

発茶沢（1）遺跡の、^{ちびきふせきそう}千曳浮石層（約 12,700 年前）の直下から^{そうき}搔器が単独で出土しています。その他にもこの遺跡から、石器が 2 点出土していて、同じ地層と考えられる^{おもてだて}表館（1）遺跡から^{りゅうきせんもんとき}隆起線文土器が出土しているため、縄文時代草創期と考えられています。

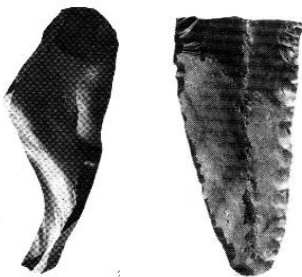


図 I-2 発茶沢(1)遺跡出土の石器

しかし、この石器は、旧石器時代の^{せきじんぎほう}石刃技法で制作されたもので、この技法は隆起線文土器を作っていた時期のものではないことから、旧石器時代とも考えられます。この石器を持った人々はキャンプをしながら転々と移動し、^{しゅりょう}狩猟・^{さいしゅう}採集・^{ぎょうろ}漁労をして、この六ヶ所の地にやって来た人々と考えられます。



狩りの様子